

長野の林業

No.
394
2024.7.10

特集

森林環境譲与税の活用

地域の話 トピックス

- ・ 上田地域／北信地域
- ・ 日本木材青壮年団体連合会 長野大会
- ・ 担い手対策の紹介

県森連だより



の山

7月第4日曜日は
「信州 山の日」

今年は制定10周年！



森林環境税

「77市町村」で森林環境税を
活用した取組みが進んでいます

県内の市町村では、森林環境譲与税を活用した間伐等の森林整備、林業事業者・現場技能者への支援等の人材育成、地域の木材・木製品の利用拡大など様々な取組みが行われています。

このほか、県外の自治体と県内市町村が連携した森林整備などの取組みも行われています。



市町村・県の取組を
掲載しています。



長野の林業
フルカラー版



森林環境譲与税を活用した県内の取組み

森林経営管理制度・森林環境税について

森林の多面的機能を高度に発揮するには、適切な林業経営と森林管理が重要です。関係者の尽力により森林資源の循環利用の取組等が進められている一方、手入れが不十分な人工林は風倒木や土砂災害を引き起こす可能性があるため、森林所有者に代わって伐採等を行う権利を経営管理権集積計画の公告により市町村が持つ制度が森林経営管理制度です。また、制度を進める財源として、令和元年度より森林環境譲与税の譲与が国から市町村及び都道府県に始まっています。なお、その財源である森林環境税の課税(年額一人当たり1,000円)が、令和6年度から開始されました。

森林環境譲与税を活用した取組み

県内では、森林管理が円滑に進むよう、森林経営管理法に基づく意向調査箇所や実施時期等を示した「森林経営管理制度実施方針」を県内73市町村が定めています。市町村に譲与された森林環境譲与税は、この方針等に基づき実施する森林整備・路網整備、木材利用等に活用されています。(表紙・表1)

県への森林環境譲与税は、市町村の支援に活用しています。(表2)これまで、森林経営管理制度市町村業務マニュアル等を作成し活用いただいています。(表3)

また、県ホームページで公開している、市町村が自ら発注する市町村森林経営管理事業の設計書作成に参考となる資料等を6月末に更新しました。

今後の展開

森林環境譲与税の活用を更に進めると共に活用事業のPRを更に図ってまいります。

表3 森林経営管理制度市町村業務マニュアル

No	名称	備考
I	森林経営管理制度市町村業務マニュアルⅠ「森林経営管理制度に係る事務の手引きの補足」	
	森林経営管理制度を進めるワークフロー	
II	森林経営管理制度市町村業務マニュアルⅡ「空中写真等を用いた森林境界推測図の作成」	
	境界明確化に必要な情報GISの操作方法	
IV	森林経営管理制度市町村業務マニュアルⅣ「森林管理技術編」	
	市町村森林経営管理事業の対象森林の整備・管理に関する内容	
IV	森林経営管理制度市町村業務マニュアルⅣ「森林管理技術編」Ⅳの詳細解説	

長野県ホームページの掲載場所



表1 市町村の森林環境譲与税の用途・活用状況

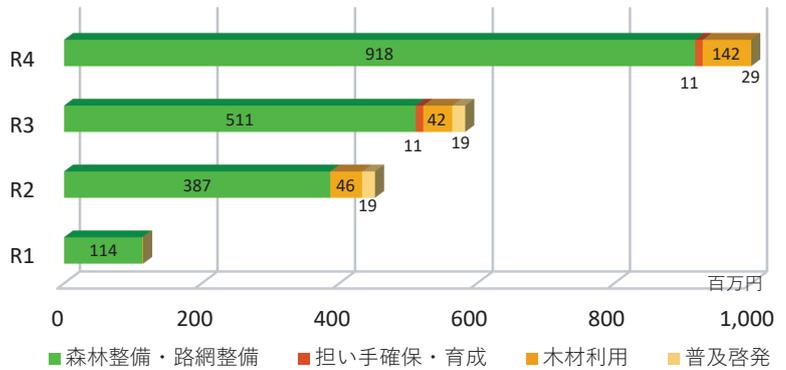
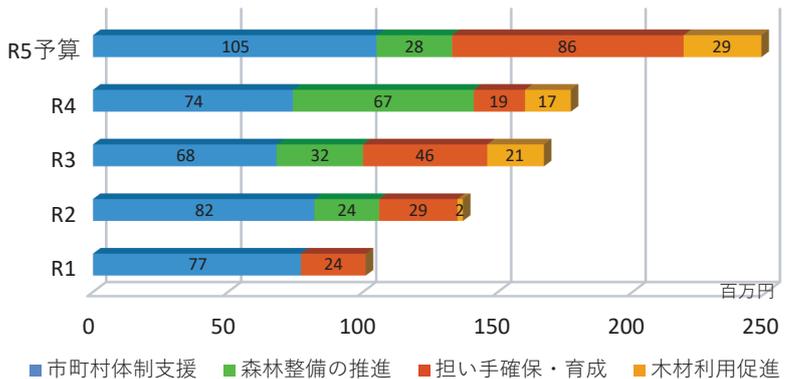


表2 長野県の森林環境譲与税の用途・活用状況



森林経営管理法（森林経営管理制度）の概要

（背景） パリ協定の枠組みの下における日本の温室効果ガス排出削減目標の達成、災害防止等を図るため。
（制度） 手入れの行き届いていない森林について、市町村が森林所有者から経営管理の委託（経営管理権の設定）を受け、林業経営に適した森林は地域の林業事業体に再委託するとともに、林業経営に適さない森林は市町村が公的に管理（市町村森林経営管理事業）をする制度。

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の概要

森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、森林環境税及び森林環境譲与税を創設
森林環境税〔令和6年度から課税〕

納税義務者等：国内に住所を有する個人に対して課する国税
 税率：1人 1,000円（年額）※1
 賦課徴収：市町村（個人住民税と併せて実施）

※1 東日本大震災に関連した防災のための税（1,000円/年）が令和5年度に終了し、令和6年度から森林環境税が課税される。

	市町村	県
令和6年度		
総額（見込）	18億5,300万円	2億600万円
配分割合	9割	1割

森林環境譲与税〔令和元年度から譲与〕

譲与総額：森林環境税の収入額（全額）に相当する額
 譲与団体：市町村及び都道府県



森林環境税の仕組み

譲与基準

〔按分割合〕

市町村分	55%：私有林人工林面積※2
	20%：林業就業者数
	25%：人口
都道府県分	市町村と同じ基準

（※2 以下のとおり林野率による補正あり）

林野率	補正の方法
85%以上の市町村	1.5倍に割増し
75%以上85%未満の市町村	1.3倍に割増し

使 途（市町村・県はインターネットの利用等の方法により公表）

市町村：間伐等の森林整備、人材育成・担い手の確保、木材利用の促進、普及啓発及びその促進に関する費用

都道府県：森林整備を実施する市町村の支援等に関する費用

令和6年度 県の森林環境譲与税の活用事業

（単位：千円）

事業名	実施内容	予算額
1 市町村の体制等支援		91,143
拡 森林経営管理体制支援事業	・森林経営管理支援センターの運営、市町村向け支援・研修会 ・市町村林務行政コーディネーター派遣事業 ・（新）市町村森林境界明確化等支援事業	56,173
総 森林情報基盤整備事業	・測量成果等の反映ツール実装改修 ・森林簿等の修正	34,970
2 森林整備の推進		24,630
総 森林路網DX推進事業	・森林路網のデジタル情報収集調査 ・森林路網のデジタル情報管理体制構築 ・森林路網のデジタル情報活用人材育成	19,630
総 エリートツリー等種子安定供給事業	・特定母樹等（カラマツ）採種圃の整備 ・スギ花粉症対策品種採種圃の整備	5,000
3 人材育成・担い手		83,930
拡 信州の森林で働く人材確保推進事業	・（拡）林業移住支援 ・（拡）林業キャリアスタート支援 ・林業就業に関する相談	27,596
拡 林業労働力緊急確保対策事業	・（拡）林業労働力緊急確保対策奨励事業 ・中途採用定着促進	16,188
総 持続的な林業経営の確立支援事業	・経営管理、労働安全技術等に係る研修の実施 ・経営者育成セミナー	7,284
総 林業労働力活用促進対策事業	・労働力マッチング支援 ・主伐・再造林の条件整備に関する研修等の実施	4,350
拡 林業安全指導体制強化対策事業	・林業労働安全強化対策 ・安全装備導入支援 ・（拡）安全指導者養成研修の実施	11,810
拡 目指せ世界水準林業技術向上プロジェクト	・（新）信州伐木チャンピオンシップ大会の開催運営	2,307
総 スマート林業構築普及事業	・スマート林業技術の導入支援 ・人材育成のための講習会の実施	7,000
総 林業大学校森林経営管理人材育成事業	・林業の基本的動作の習得 ・木質バイオマスを利用した環境教育、タブレット端末リリース	2,612
新 木曽谷・伊那谷フォレスト バレー形成事業	・（新）推進体制の構築 ・（新）機運の醸成及び関係機関の連携の強化 ・（新）人材育成・創業支援プログラムの開発、実行	4,783
4 木材利用推進		32,500
拡 ウッドもっとなぐ事業	・信州ウッドコーディネーターの派遣 ・（拡）県産材製品を見つけやすい環境整備	12,500
総 ウッドチェンジ普及促進支援事業	・県産材製品の普及強化 ・県産材製品の魅力向上	12,000
総 林地残材有効活用推進支援事業	・林地残材等未利用材の活用に向けた支援	8,000
合計		232,203

令和7年度 長野県林業大学校学生募集及びオープンキャンパス開催のお知らせ

「自然のなかに心のなかに森林を育てる」学校に入りませんか

長野県林大では令和7年度の学生募集要項を発表しましたので、本校の現状や特長も併せてご紹介します。

本校では、昭和54年の開校以来、信州大学や県林業総合センターの研究機関等と連携のもと、全寮制による行学一致の教育を行い、本年3月までの44年間に、国や県、森林組合、林業木材関連会社などへ、816名の卒業生を送り出してきました。

専修学校林業専門課程へ移行した平成13年度以降の423人の卒業生の進路を見ますと、素材生産や木材流通等の民間企業が38%と最も多く、次いで森林組合が22%、公務員が21%となっています。また、学生募集における競争率は、直近5年間平均では1.68倍となっており、令和6年度は定員20名のところ32名の応募がありました。今年度入学生の出身校も県内外の普通科を含む19校と様々で、引き続き幅広い高校へ本校の魅力のPRに努めてまいります。



2学年 山の環境学(上高地にて)

【長野県林業大学校オープンキャンパスのご案内】

「来て・見て・体感」

左記の日程でオープンキャンパスを開催いたします。施設の見学や、先輩学生から直接話を聞いたりして、林大の魅力を実感してください。学生さんはもちろん、ご家族や付き添いの方も大歓迎です。

◇開催日及び時間 第1回 令和6年7月27日(土) 9:30～12:10

第2回 令和6年8月25日(日) 9:30～12:10
◇内容 学校紹介、校内見学、「林大のすご技披露」、質問コーナー

個別相談(希望者のみ)

◇申込方法【事前申し込みが必要です】

ファクシミリ、電子メール、郵便はがき、電話のいずれかの方法で、開催日の1週間前までにお申し込み下さい。なお、申込期限前でも、各開催日とも参加者先着30名で締め切らせていただきます。

参加日、お名前、ご連絡先など必要になりますので詳しくは、林業大学校のホームページをご覧ください。

【令和7年度募集要項】

◆定員／1学年20名(推薦入学を含む)

◆推薦入学試験

受付期間／令和6年9月27日(金)～10月11日(金)

入学審査／令和6年11月1日(金) 筆記試験(小論文)、人物考査

◆一般入学試験

受付期間／令和6年11月13日(水)～11月22日(金)

入学審査／令和6年12月7日(土) 筆記試験(小論文)、人物考査

*詳しくは、県ホームページで

<https://www.pref.naganano.lg.jp/ringyodai/boshu/nyushih.html>

本校のPR活動の一つとして「長野県林業大学校オープンキャンパス」を下記のとおり計画しておりますのでお知らせします。

■長野県林業大学校

〒397-0000

長野県木曾郡木曾町新開4385-1

電話 0264-2312321

Fax 0264-211058

E-mail: ringyodai@pref.naganano.lg.jp

<http://www.pref.naganano.lg.jp/ringyodai/index.html>



昨年のオープンキャンパスの様子

現場で活躍する林業大学卒業生の紹介

関口 柁平さん

長野県森林組合連合会

北信木材センター 技手

令和5年度卒(第44期生)



問1…林業に就業した理由は？現在どんな仕事に従事されていますか？

私は、幼い頃からスキーやマウンテンバイクに親しむ中で、森林と触れ合ってきた経験を通じて林業に興味を持ち、林業への就業を志しました。

現在は、長野県森林組合連合会の長野市にある北信木材センターに勤務しており、主にフォークリフトで北信地域の山から出荷された木材の選木仕分けを行っています。



関口さんの仕事風景

問2…日々の業務の中で林大で学んで良かったと感じることは？

林大の授業では、様々な樹木を見て学ぶ機会があったので、普段、木材センターで取り扱っている木材の樹種判別ができるということと、林大での学びが役立っていると感じています。

問3…未来の林業の担い手にメッセージをお願いします！

林業は自然の中で仕事ができるだけではなく、豊かな自然を次世代に継承していく仕事でもあり、とてもやりがいを感じられる仕事だと思います。

ぜひ、共に林業を盛り上げていきましょう！

根井 悠斗さん

有限会社須江林産

平成26年度卒(第35期生)



問1…林業に就業した理由は？現在どんな仕事に従事されていますか？

木曾青峰高校の森林環境科、長野県林業大学校を卒業し、目の前には選ばざるを得ない立派なレールがありました。元々自然が好きなのもあり、林業に就業しました。

5年ほど現場作業を経験し、現在は森林整備の現場管理や補助金申請書類の作成などを行っています。林業の中でも裏方の仕事になります。林業の中でも裏方の仕事になります。林業の中でも裏方の仕事になります。管理できる仕事で、責任とやりがい、楽しさを感じながら、将来に良い山林が多く残せるように微力ながら頑張っています。

問2…日々の業務の中で林大で学んで良かったと感じることは？

林大では実習を筆頭に林業事業体の現場見学など、現場や山林で

学ぶ機会が多くあります。

こうした授業の中で、林業には色々な考え方や作業方法があることを学びました。そうした経験が日々の業務の中で、選択肢や発想の幅を広げることにつながっています。

問3…未来の林業の担い手にメッセージをお願いします！

自然が好き・かっこいい林業機械に乗ってみたいなど、少しでも興味があれば、林業をおすすめします。

高性能林業機械にはベテランしか乗れない、そんなイメージがありませんか？そんなことはなく、ベテラン・若手関係なくオペレーターとして活躍できます。林業の花形である高性能林業機械を操縦したり、チェーンソーで木を伐つたり、森林整備を計画したりと、色々な働き方ができます。是非、林業の世界に来てください！



根井さんの仕事風景



上田地域

上小森林認証協議会が ホームページを開設しました

上田地域のSGEC認証森林は市町村有林など13の団体の公有林で構成され、平成28年4月に認証を取得し、現在、認証2期目、通算9年目となりました。森林面積は約9,500haあり、上田地域民有林の約1/4を占めています。

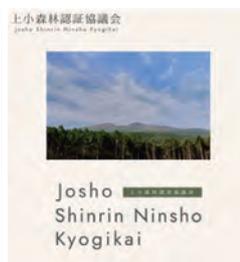
森林認証は、無計画に伐られて生産された木材ではなく、持続的森林経営を行っている森林から生産される木材を選択的に消費してもらい、認証森林の持つ環境・経済・社会に対する役割を高めようとするものであり、それは森林認証制度が社会的に認知されて初めて成り立つものでもあります。

認証を受けるために設立された上小森林認証協議会は、「社会に貢献し、社会と共にある認証森林を目指して」をテーマに活動しており、主な活動には、認証森林をフィールドに「地域の林業課題を調査研究する取組」、認証森林に植林するイベント「UE森(うえもり)〜上田地域にぎやかな森づくり植樹の集い〜」、森林に関する地域活動や認証森林の理念などを紹介する「あつまれ!にぎやかな森づくりフォーラム」があります。

このような森林認証の理念や森林認証協議会の活動を知ってもらうため、このたびホームページを開設しました。森林や林業を巡る諸課題は社会と切り離しては考えられません。社会への発信と地域との対話を深めていくツールとして、今後も活動を記録していきます。ぜひあなたのスマホでQRコードからご覧ください。ホームページアドレス <http://nigi-yaka-mori.com>



UE森 参加者記念写真



ホームページのトップページ



北信地域

令和6年度北信州森林祭を開催しました

令和6年度の北信州森林祭(北信州森林祭実行委員会主催)を、6月16日(日)に、山ノ内町志賀高原で開催しました。

今回は、平成26年から志賀高原で開催されている「ABMORI」との同日開催となり、式典と開会式を、志賀高原総合会館98で行いました。ABMORIには毎年県外などから大勢の方が参加しており、例年より盛大な式典となりました。

式典では、地域の森林整備に貢献があった一般財団法人 和合会と、湯田中地区里山整備利用推進協議会に対し、「北信州林業賞」の表彰を行いました。

式典、開会式の後にはABMORIと北信州森林祭それぞれの会場に分散し、森林祭会場の杓打名水公園では、志賀高原にも自生しているレンゲツツジとサラサドウダンの苗木約400本を、参加全員の協力のもと植樹しました。

当日は天候にも恵まれ、短い時間でしたが、参加者の皆さんと気持ちの良い汗を流すとともに、森林を守り育てることの大切さや意義を改めて感じる事ができました。

来年の初夏には、植樹したレンゲツツジとサラサドウダンの花が、志賀高原を訪れる人の目を楽しませてくれることを期待したいと思います。



森林祭では約100名の方により、レンゲツツジとサラサドウダンを植樹しました

【上田地域振興局林務課】

【北信地域振興局林務課】



日本木材青壮年団体連合会 第69回全国会員長野大会を開催

日本木材青壮年団体連合会第69回全国会員長野大会を6月8日(土)に長野市芸術館で開催し、木青連の全国大会が長野県で行われたのは22年ぶり、盛大に開催することができました。

本大会は、「結いゆい」、そして次世代へ」の行動が未来を創る大会テーマに全国から木材青壮年関係者約500人が集いました。

式典では、令和5年度日本木材青壮年団体連合会、島田会長(東御市・(株)第三木材代表取締役)のあいさつをはじめ、青山林野庁長官、阿部長野県知事、荻原長野市長ほか来賓6名の皆様からご祝辞をいただきました。

その他、「全国児童生徒木工工作コンクール」「木材活用コンクール」

■式典の様子



式典の様子



島田会長あいさつ



阿部長野県知事による祝辞



全国児童生徒木工工作コンクール表彰式



木材活用コンクール表彰式



22年前の長野大会で製作した演台で県庁会見場へ寄贈したものを今回リニューアルし式典で使い、再び県庁会見場で使ってもらう。

■桜スクエア森林フェアの様子



ミニイスづくり



マイ箸づくり



しいたけ原木駒打ち体験



木工クラブ体験



林業機械の実物展示



林業機械シュミレーター体験

の表彰式も行い、全国各地より応募いただき入賞された優秀作品が表彰されました。

今回初の試みとして、厚切りジェイソン氏による記念講演会を一般公開をし、大勢の一般の方々が参加していただきました。

会場屋外では、市役所西側広場「桜スクエア」にて、長野県・長野市・長野県木青連等関係諸団体の構成による実行委員会主催で、「桜スクエア森林フェア」を初めて開催し、一般市民等約2,000人の方々来場し盛大に開催することができました。

森林フェアでは、木材・木工製品の展示販売をはじめ、林業機械の実物展示、林業機械のシュミレーター体験、ミニイスづくり、マイ箸づくり、木工クラブづくり、シイタケ原木駒打ち体験など、大人から子供まで楽しめる多くのブースが用意されました。

長野県、長野市の皆様をはじめ、関係諸団体等多くの関係者様のご支援・ご協力のおかげで無事開催することができました。皆様に心から感謝申し上げます。

信州の森で働きたい！を応援します

全国トップクラスの働きやすい林業県を目指し、人材の確保・育成に対する支援により、林業事業主や新規就業者の皆さんを応援します。

支援の概要（5つの重点施策）

① 新規就業者の確保

- ★長野県へ移住した方への支援
他県からの移住を伴い林業へ就業をされた方へ給付金を支給
- ★林業を新たに始めた方への支援
他産業からの転職者及び新規学卒者へ給付金を支給
- ★林業相談窓口
就業への不安を抱える方に対して、先輩就業者等に相談できる窓口設置
- ★林業就業希望者等に対して、次の講座等を開催

【I 林業基本講座】

第1回…令和6年10月10日(木)
第2回…令和7年2月20日(木)

【II 研修見学会】

8～10月にかけて、緑の雇用研修生による伐採実習・木材搬出実習の見学・就業に向けた相談が可能



共同就職説明会の様子
※I・IIではシミュレータの操作体験あり

【III 林業共同就職説明会】

第1回…令和6年8月31日(土)
第2回…令和7年1月25日(土)

※その他の研修会等については(一財)長野県林業労働財団ホームページに随時案内を掲載予定です

② 保育従事者の確保

- ★新たな雇用に対する支援
前年度から林業就業者が増加した林業事業体に対して奨励金交付
- ★特別教育等の受講に対する支援
雇入れ時に必要な伐木等特別教育・刈払機安全衛生教育を支援
- 圏域を越えたマッチング支援
圏域を超えた事業協力に対して、交通費や機械運搬費等を支援
- 主伐・再造林を進めたい団体への支援
専門家派遣や研修会の実施等

③ 多様な担い手の確保

- ★就業準備に対する支援
新規就業者の雇用に必要な資機材等の準備費用を支援
- ★新たな作業種資格取得への支援
新たな作業種に取り組む事業者の資格取得を支援
- ★兼業や林福連携への支援
兼業や福祉施設等との連携活動を行う事業者の安全指導費用相当を支援

④ 創業チャレンジの応援

- 林業の創業に対する支援
新たに造林事業を開始する事業者に対し、資機材等の導入を支援
- 融資制度(林業・木材産業改善資金)
経営改善に向けた設備導入への融資

⑤ 林業就業者の定着促進

- ★安全装備の導入に対する支援
労働災害防止のための安全装備導入を支援
- ★福利厚生対策への支援
振動病特殊健診・蜂アレルギー検査受診やエピネフリン注射器購入経費、退職金共済掛金等を支援
- ★個別事業体研修の実施を支援
事業体の経営力向上・安全対策強化等の個別課題解決に向けた研修実施の支援

〈支援についての問合せ〉

●印…林務部信州の木活用課担い手係
☎026・235・7274
●印…県林業労働力確保支援センター
(一財)長野県林業労働財団
☎026・225・6080
HP <https://nrinrounet/>



林業の情報発信を強化します

林業は森林づくりを通じて安心・安全な暮らしや豊かな地域づくりを支える仕事ですが、なかなか人目に触れる機会がありません。

そんな林業の魅力を伝えるため、働く人の姿や、就業に関する情報を一元的に発信するプラットフォームを整備し、林業の情報をより多くの方に届けます。

林業労働災害防止に向けて

全産業と比べて労働災害の発生率が最も高い林業において、より安全に安心して働く環境を整備するため、県では令和5年度に、高性能林業機械(ハーベスタ・フォワーダ)の操作訓練ができるシミュレータ、及びチェーンソーの伐倒における林業労働災害をVRで体験できるシミュレータを1台ずつ導入しました。林業就業者のトレーニングに活用いただくことでより一層の林業労働災害防止に努めます。

写真：
シミュレータ活用状況



上：林業労働災害VRシミュレーター



右：高性能林業機械シミュレーター

【信州の木活用課担い手係・長野県林業労働力確保支援センター(一財)長野県林業労働財団】

Forest
ユーハイコナー

31の10も選ぶアイテムに注目！
第31回森林組合購買チラシ



▲チラシはQRコードからご覧ください



▲新規掲載のオニヤンマ帽子などにつけて快適な野外作業に

2024年版の「森林組合購買チラシ」が完成しました。組合員の皆様にご好評いただき今年で31回目になるチラシは、近隣の中部・関東の11県森連合同で毎年作成しております。

林業で使うチェーンソー防護パンツや振動軽減手袋、山菜狩りやきのこ狩り等に便利なスパイク地下足袋やナタ、ノコギリなどの定番商品のほか、キャンペーンやB・B・Qなど夏のレジャーにも人気の「パワー森林香」や、オオカミの尿の成分でシカ、サル、イノシシ、クマなどの獣害忌避効果を発揮する「ウルフピー」も好評です。

裏面の「しんくみバザール」は、表面に載せきれなかった魅力ある商品を紹介するほか、地元産材を活用した県内森林組合取り扱い商品を紹介しております。

新たに掲載された「天敵で虫除けオニヤンマ」は、精巧にオニヤンマの姿を再現した模型で、ハチやアブ、ブヨを寄せ付けない効果があり、野外での作業が増える夏にマストなアイテムです。

表裏合わせて約160点ほどの魅力的なアイテムが掲載された「森林組合購買チラシ」は県内各地の森林組合でも閲覧できます。

ぜひこの機会に、森林組合の購買商品をチェックしてみてください！
お求めはお近くの森林組合へ！



◀駒打ちに興味津々の子どもたち
積み木や木工クラフトも大人気だった



丸太をダイナミックに削りながら、繊細な作業で、みるみるうちにミミズクの姿があらわれる制作風景に、思わず見入っていました。

今回のイベントを通じて多くの方に木材利用をPRできました。

汗ばむ陽気となった当日は、当会含め関係する7団体が著作や木工教室などの体験ブースやキッチンカーの出店で大いに賑わいました。

その中で、長野森林組合によるフォワードの展示とチェーンソーアートの実演も行われました。

「ハンマーで種駒を打ち込むのが楽しかった」「作ったシイタケを家族で食べたい」などの感想をいただき、原木のナラの木に触れることで、どんぐりが成る木であり、カブトムシが好む木でもあるといった話をしながら、木をより身近に感じてもらえる機会となりました。

種駒を打った原木は、来年の秋頃にはシイタケが発生し、美味しく食べられるようになります。

6月8日に、第69回日本木材青壮年連合会全国会員長野大会に合わせ、長野市役所前庭の桜スクエアで「桜スクエア森林フェア」が開催されました。

長野県森林組合連合会では、森の恵みと木の良さを体験していただくために「シイタケ原木の駒打ち体験」と林業資材の販売を行いました。

子供から大人の方まで大勢の皆さんに体験していただくことができ、100本用意した原木は好評につき、お昼過ぎには終了しました。

体験した皆さんからは、「ハンマーで種駒を打ち込むのが楽しかった」「作ったシイタケを家族で食べたい」などの感想をいただき、原木のナラの木に触れることで、どんぐりが成る木であり、カブトムシが好む木でもあるといった話をしながら、木をより身近に感じてもらえる機会となりました。

種駒を打った原木は、来年の秋頃にはシイタケが発生し、美味しく食べられるようになります。



株式会社キータック 木更津工場を視察しました！

6月18日と6月25日に長野県森連職員が千葉県木更津市の株式会社キータック木更津工場を視察しました。

株式会社キータックは輸入材合板の生産を主軸に昭和33年に設立され、構造用単板積層材（LVL、商品名：キータック）生産の日本における先駆けであるほか、構造用合板の生産を行う山梨工場（山梨県南巨摩郡身延町）と併せ、国産材を活用し木構造の利用拡大に寄与する製品を展開しています。

LVLは丸太をロータリーリースでかつら剥きのように切削した単板



▲安徳工場長から説明を受ける一行



▲木口に書かれた極番に見覚えが！

を、繊維方向が平行となるよう積層・接着して造られる木材加工製品で、寸法や強度の安定性、精度に優れることや、小径木や曲がり材など無垢材として製材できないB材でも長尺通直材を得ることができ、木構造の設計における高い自由度を持つのが特徴です。

南佐久郡川上村の「かわかみ保育園」や千葉県流山市「おおぐろの森小学校」など全国各地の大規模公共建築物に活用されているほか、日本初の高層純木造耐火建築として令和4年3月に竣工した「Port Plus 大林組横浜研修所」にも使用されています。

木更津港に面した46,944坪の敷地に約150人が働く木更津工場では、皮剥きから単板切削、乾燥、積層、そしてプレカット加工まで行っており、ほとんどの工程が自動化され、整理整頓された工場内のみるみるうちに見慣れた丸太から製品へと変貌するその加工スピードに、初めて製材工場を見学した職員は驚いていました。

LVLには国産材の中でも強度が高いカラマツ材が採用されており、年間約6万m³が使用されています。ヤング係数（材料の変形しにくさを測る指標）の規格を満たすため、同一の樹種、等級で生産しなければならぬことから、カラマツを産地別に集荷し、生産工程の中で測定したヤング係数によって、更に単板を選別していました。

信州の山で育ったカラマツは特に優れた強度を持つ単板を得やすい傾向にあるとのこと、当会各木材センターで森林組合システムをはじめ山から集荷したカラマツ材を木更津工場、山梨工場に毎日供給しています。貯木場にはい積された見覚えのあるカラマツ丸太を職員一同が頼もしく見つめる一幕もありました。

また工場見学の前に、LVL材を活用した施設の見学とし

て、平成29年にオープンした「道の駅木更津うまかつの里」を訪れました。構造材におよそ原木トレーラー4台分ものLVL材や構造用合板が使われており、特産のピーナッツやブルーベリーなど新鮮な農産物や併設のカフェを目当てに訪れた観光客で賑わう店内で、自ら集荷、選木したカラマツ丸太がLVLという更に価値付けられた製品となり、しっかりと構造を支えている様子に、日々の業務が、最終的に多くの方々が享受する、木構造による素敵な空間づくりにつながっていることを実感したのでした。



▲商業施設など普段の暮らしの風景に木構造がさらに使われ、当たり前になることを期待したい



安曇野市三郷のもくりゅう館で、2024年6月18日、19日に森林組合職員を対象とした「職長・安全衛生責任者教育」が開催されました。

この研修会は現場の作業員の安全及び指導・監督能力の向上を目的として平成11年から継続して開催されています。今回は、9森林組合から16名が受講しました。



▲塗装作業の例を題材に KYT の進め方を学ぶ

令和6年度 職長・安全衛生責任者教育

RSTトレーナーの横山繁樹氏を講師に迎え、職長の役割や職務、監督・指示の方法等の講義と各議題について学びました。研修はグループワークを進められ作業手順書の作成、危険予知トレーニング(KYT)、リスクアセスメント、チェーンソーによる伐木造材作業に関する作業計画書の作成、長野県内で実際に発生した災害事例の研究を行いました。

これまで林業界では、工場や建設現場と異なり、不確定要素が多い労働環境から、作業方法や仕様を明確に伝えることが不十分でしたが、労働災害撲滅や確実な後継者育成に向けて、作業計画書様式の開発やリスクアセスメントなどの取り組みが定着しつつあります。

自分自身はもちろんのこと、共に働く仲間を労働災害から守るため、真剣に議論に取り組む姿が印象的でした。また、異なる地域で林業に励む仲間が集まる貴重な機会であることから、指示の仕方や後進への指導方法などを互いに相談し合う場面もありました。

受講者には後日、労働安全衛生法で定められた「職長・安全衛生責任者教育カリキュラム」に基づく修了証が交付されます。



▲昨年の会場の様子
約10,000人も来場で賑わった

☎026・261・1380

入場無料。各種お問い合わせは
実行委員会事務局 長野県生活協同
組合連合会まで。

開催日は10月6日(日)の10時
00分〜15時30分、長野市の「なが
の表参道セントラルスクエア」
を会場に、県内の協同組合や関係
団体が商品を持ち寄り、農産物な
どの直売を行うほか、活動紹介や
体験コーナー、被災地復興支援や
フードバンク活動など約30ブース
が出店予定です。

長野県内の協同組合間連携の一
環として、組合員同士の交流や県
民の皆様と協同組合の活動を知っ
ていただくイベント「長野県協同
組合フェスティバル」が今年も開
催されます。

**協同組合フェスティバル
2024開催のびる5セ**



XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX



暑中お見舞い申し上げます



XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

緑の担い手

信州上小森林組合

代表理事 石井公彦
組合長 石井公彦
役員一同

緑を育て山を守る

佐久森林組合

代表理事 山岸喜昭
組合長 山岸喜昭
役員一同

レストラン
四季の味 樹木里

南佐久南部森林組合

代表理事 由井明彦
組合長 由井明彦

南佐久中部森林組合

代表理事 黒澤和夫
組合長 黒澤和夫

南佐久北部森林組合

代表理事 佐々木勝
組合長 佐々木勝

諏訪森林組合

代表理事 藤森良隆
組合長 藤森良隆
役員一同

木曾山林協会

会長 大屋誠
役員一同

下伊那山林協会

役員一同

上小林業振興会

会長 羽田健一郎
役員一同

佐久森林林業振興会

役員一同

北佐久木材協同組合

理事長 新井藤弘
組合員一同

事務所 小諸市大字平原四ツ谷原九六七七七
☎(〇二六七)二二二二二〇
FAX(〇二六七)二四一〇六八三

松本地域森林林業振興会

役員一同

信州根羽すぎ・根羽ひのき

根羽村森林組合

代表理事 大久保憲一
組合長 大久保憲一
役員一同



飯伊森林組合

代表理事 林和弘
常代表理事 吉澤悦史
役員一同

もりもり上伊那



上伊那森林組合

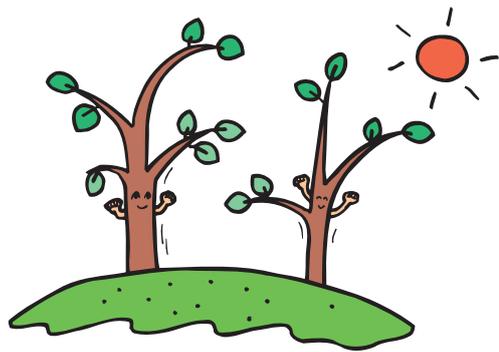
代表理事 白鳥孝
組合長 白鳥孝
役員一同

南安曇木材協同組合

理事長 佐原良彦
安曇野市穂高七九四〇一二七
☎(〇二六三)七二二二〇〇

上小木材協同組合

理事長 小林基英
組合員一同
上田市芳田一八一八一
☎(〇二六八)三五一一四〇〇



暑中お見舞い申し上げます



損害保険代理店
環境事業計画施工・墓石

株式会社 モリレン長野

長野市中御所岡田町三〇一
 ☎(〇二六)二六七一〇一八三六
 FAX(〇二六)二六六一〇一八二六

大栄産業株式会社

松本市波田二九五―一三七
 ☎(〇二六三)九二一五〇五一
 FAX(〇二六三)九二一五八〇九

ホームページ: <http://www.daisangy.co.jp>

唐松・杉・桧各種素材丸太・製材品
組建物・看板・加工一般・施工一式
新型インサイジング
(角材及び円柱可能)
防腐加圧処理(ACQ・その他)
※加圧処理は、長さ16.0mまでできます
ウッドレリーフ製作

グリーンプラマーク取得
地球にやさしい
生分解性プラスチック用の
くん炭用被覆シート

まつのごまろ

松くい虫防除シートは

信濃化学工業株式会社

〒381-0045
長野県長野市桐原1-2-12
TEL 026-243-1115
FAX 026-243-1520

素材生産事業、森林整備事業

有限会社 高遠興産

代表取締役 **林 敏行**

〒396-0023
長野県伊那市山寺一五五八―一
☎(〇二六五)九六一〇〇七三
FAX(〇二六五)七二一八三〇八

カラ松日本一を目指します



東信木材センター協同組合連合会

小諸市甲字鞍掛4747 電話 0267-23-0887
FAX 0267-22-1293

林業用薬剤と
グリーンメンテナンス

松くい虫防除・芝地総合管理
非農耕地雑草防除
― 緑と土と水を守る ―

長野県森林連指定業者
長野県林業薬剤防除協会員

株式会社 アクロ信州

本社 ☎0268-23-2135 FAX0268-23-2153
中信営業所 ☎0263-77-8863 FAX0263-77-8893

サンディーパーマット
S/N緑化万能マット
カゴ枠・大型カゴ枠・パネルフロン籠

株式会社 酒井工業所

松本市村井町南三丁目二〇番一四号
☎(〇二六三)五八三二〇〇
FAX(〇二六三)八六一三八八―

株式会社 キーテック

代表取締役社長 **中西 宏一**

〒136-0082
東京都江東区新木場一七二二
新木場タワー18階
TEL(〇三)五五三四一三七四一
<http://www.key-tec.co.jp>

令和6年度 木育事業

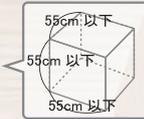
広がろう・つながろう

第47回 長野県児童・生徒木工工作コンクール

締切/令和6年 9月13日(金) 審査/令和6年 10月9日(水)

- 応募資格/長野県下の小学校、中学校、特別支援学校(級)の児童生徒の皆さん
- 作品基準/

- ①テーマ/自由(ただし、木材を主材料として利用・加工した総作品であること)
- ②大きさ/1辺が55cm以下(タテ・ヨコ・高さ全て55cm以下)
※台を含め55cm以下、展開したり、広げて展示する作品も55cm以下
- ③その他/搬入搬出において、壊れにくいもの(破損した場合の責任は負いません)出来るだけ県産材を活用してください。



**みんなで
応募しよう!**

※作品の出品については各学校で受け付けております。その他不明点は下記までご連絡いただくか、ホームページまで!

- 主催:長野県木材青壮年団体連合会
- 共催(予定):長野県/中部森林管理局/(公財)長野県緑の基金/長野県産材振興対策協議会/長野県木材協同組合連合会
- 後援(予定):長野県教育委員会/(一財)長野県建築住宅センター/長野県森林組合連合会/NHK 長野放送局/SBC 信越放送/NBS 長野放送/TSB テレビ信州/abn 長野朝日放送/長野エフエム放送/新建新聞社/長野県民新聞社

■お問合せ先

長野県木材青壮年団体連合会 事務局 (長野県木連内)

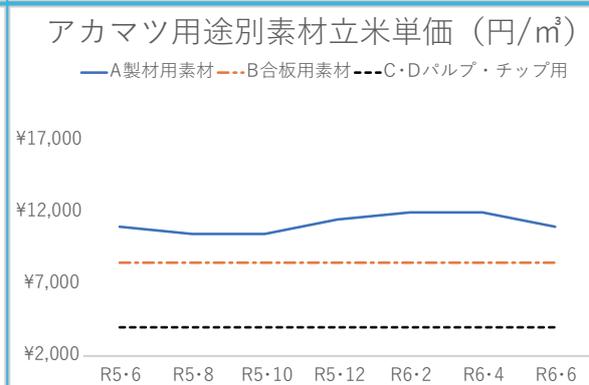
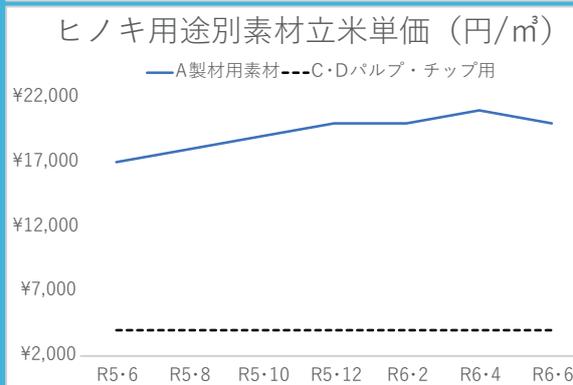
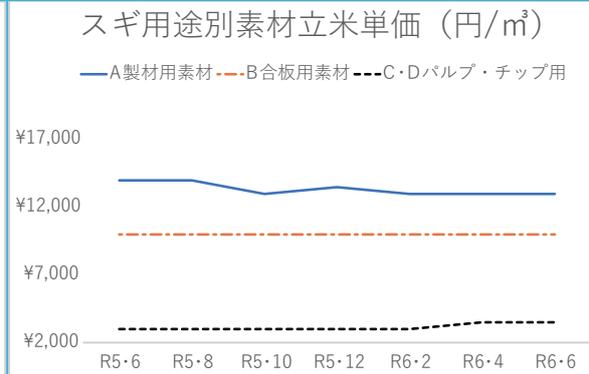
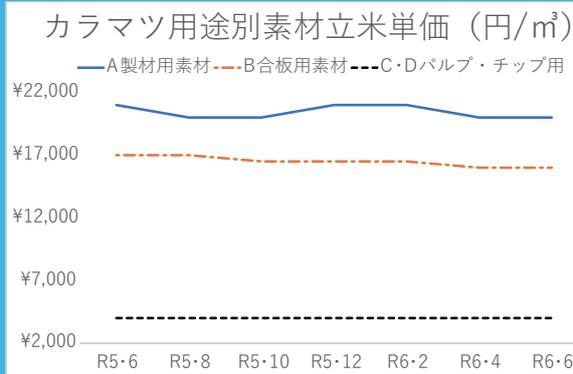
〒380-8567 長野市岡田町 30-16 TEL:026-226-1471 FAX:026-228-0580

ホームページはこちら →

もくせいれん

検索

JForest 長野県の木材市況



※北信、中信、伊那木材センターの市況表より作成

6月21日に関東甲信越地方は梅雨を迎えましたが、30℃近い最高気温の晴れ間が連日続き、日陰のない土場での作業には熱中症対策が欠かせません。そんな空梅雨の中、県内各地の木材センターに多数の出荷をいただき誠にありがとうございます。

材が痛みやすい時期となっているため、くり、くるみ、なら、さくら等広葉樹の引き合いはあるものの、需要がやや低調で一服感が見られました。良材が見込めるものにつきましては、秋以降の出荷を検討下さい。

製材用丸太については、ヒノキ・スギともにやや値下げ傾向となりました。スギは3m柱向け、カラマツは小径材を始め需要が出てきておりますので、直造材での出荷を心がけて下さい。

アカマツについては需要期を過ぎ価格、引き合いともに低迷しております。広葉樹同様秋以降の伐採をご検討下さい。需給状況に応じた造材情報の提供、仕分けを行っていきますので各木材センターにご相談下さい。

【当連合会は合法木材に取り組んでおります】

合法木材供給事業者の認定を取得したうえで、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号及び伐採地と伐採箇所が記載された納品書及び伐採届の提出をお願いします。

※安全のため、木材センターでの荷下ろし・積込みの際には車止めの使用とヘルメットの着用をよろしくお願いいたします。



▲伊那木材センターと中信木材センターの出品の様子

県森連 HP では市売情報を写真付きで随時更新しております！

最新の市況表もご覧いただけますので、納材や入札の検討にご活用ください！

「長野の林業」のバックナンバーもこちらから♪

